

七大学若手会花見大会開催 参加者数過去最大規模に！

2016年4月2日(土) 七大学若手会による第二回花見大会が開催された。今回は七大学卒に加え非七大学卒も参加。七大学卒と非七大学卒の多様な参加者と共に満開の桜とスカイツリーを眺めながら交流を深めた。

東京都心で桜が開きとなり、初めての週末を迎えた4月2日、七大学若手会による花見大会が猿江恩賜公園(東京都江東区)にて開催された。合計68名(男性34名、女性34名)の若手が参加、過去の花見会では過去最多の参加人数となった。当日は気温が冷え込んだものの前日の雨の影響もなく満開の桜の下で多数の若手が交流を図った。参加者は午後になると徐々に増え、各々が日本酒や食べ物、飲み物を持ち寄り、酒井役員のヴァイオリン演奏やゲームを愉みながら、楽しい時間を過ごした。

交流企画

受付が少し落ち着いた頃、初参加でも交流しやすくなるよう考えられた交流企画①「脱出ゲーム」を実施。これは、到着した順の4人のチームで、幹事達が厳選した問題を解き、無事解けたチームから賛助で頂いた青島ビールを手に入れた。参加者はお互いに知恵を働かせ、共知恵を働かせ、無事問題を解いた。時には自然と達成感と一体感が生まれていった写真A)。また、14時から交流企画②「究極

写真右：シートは参加者で埋められた。



選問…あなたはどっち？一ゲームを実施。これは、幹事が用意した「無人島のどちから選ぶか」等の究極の価値観に依りてどちらかを選び、同じ選択肢を選んだ人同士で自己紹介を行いながら交流するもの。当企画では、全ての回答が同じだった相性抜群の5組のペアが現れ、司会の小山氏からのインタビュウに対し、

二次会にて親交をのび深める

花見は大盛況で終了し、参加者一同は、そのまま二次会へ。会場は、利根川氏の緻密かつ徹底した調査により選ばれた錦糸町駅近辺の和食居酒屋。魚料理をはじめとした美味しい料理を食べつつ、お酒を嗜んだ。司会の坂本氏の進行により、自己紹介が始まり、その後、席替えが行われ、参加者同士



写真右：公園のシンボル時計塔と団体旗

写真左：満開の桜から臨むスカイツリー



写真A：交流企画①の様子



写真B：交流企画②の様子



シンボルの時計塔を前に参加者で集合写真

の親睦が一層深まった。会話の内容はテールブルごとさまざまで、学術的な話題から今後のキャリアプラン・結婚に至るまで参加者同士が本音で語り合った。職場ではなかなか聞けない仕事の話や同年代だからこそ相談しあえるプライベートの悩みで会話は盛り上がり、充実したひとときとなった。

皆の前で嬉しそうに感想を述べた。(写真B)
 花見大会の終盤には、脱出ゲームで脱出スピード上位3チームにジューク会長より表彰された。今回は脱出スピードが1位のチームが2組現れ、じゃんけんにて幸運にも恵まれ1位となったチームは、満面の笑みを見せた。(写真下)



脱出スピードNo1チームの皆さん



香港某テレビ局オーナー 華人花見大会の陳平様、馬建英様 辛平会長



華人花見大会の皆さん

「来賓の方々」と華人会の様子

花見大会当日、今年は多くの来賓にご参加頂いた。七大学若手会が辛会長と許会長が仕切る別の華人花見大会(約30名参加)の場所取りを支援したこともあり、華人組織の辛平会長が参加されたほか、Tico会長の友人である香港某テレビ局のオーナーの陳平様(右)と馬建英様(左)からは、ワインを頂いた。さらに、華人花見大会から、当団体の楽しそうな雰囲気を見て、自ら飛込料を支払ってまで複数名の方にご参加頂いた。



再会を誓う参加者たち

氏の本締めで締めくくられた。皆が七大学若手会と参加者の今後のさらなる発展を祈願した。

花見大会開催に向けて

花見大会開催に向けて幹事団は合計三回の打合せを重ねた。第一回は2016年2月29日(月)八重洲にて開催。全体方針と幹事団リーダーがこの場で決定した。以降、花見大会での交流企画に関する議論、当日進行のすり合わせや会場の下見等を経て当日の花見大会に臨んだ。



第一回打ち合わせに集まった幹事たち

リーダーは青天の霹靂!?

第一回打合せは八重洲のとある創作居酒屋にて飲み放題コースのビール片手に幕を開けた。役割分担が話し合われる中、酒井役員の独断にて突如、伊井野氏が幹事団リーダーに任命された。驚きの表情を隠せない伊井野氏に酒井役員より全力の交渉が入る。見事に伊井野氏を説き伏せた訳であるが、この大抜擢が花見を大成功に導いたことは言うまでもない。とは言え、焦る伊井野氏は突然の任命に戸惑いながらも強い責任感で週末かけて幹事マニュアルを破。全ての内容を把握し、翌日以降、幹事への指示が矢継ぎ早に飛ぶ。そんな伊井野氏をサポートすべく酒井役員、幹事団が力を合わせ準備を進めるのであった。

企画も充実、いざ花見へ

第二回打合せは3月26日(土)花見会場の下見を兼ねて猿江恩賜公園内の店にて開催。企画案の一つであった脱出ゲームに幹事団でトライするものの思いのほか苦戦!しかしそれがかえって団結力を生み、第一弾交流企画として採用となった。その後公園内でスカイツリーや時計塔のよく見えるベストな場所候補を確認し、花見当日の場所取り合戦に備えた。第三回打合せは3月28日(月)二次会場場の下見を兼ねて錦糸町の和食居酒屋にて飲み放題コースを開催。ビール片手に交流企画第二弾と

として挙がった「あなたはどっち?」ゲームについて具体的な内容が話し合われるとともに、当日のタイムテーブルもほぼ確定。以降、睡眠時間が連日3時間の伊井野リーダーの下、幹事団一同花見大会に臨むのであった。

※飲み放題は皆さんの小原さんへの優しさであった。



◆4月の若手昼食会は18名が参加。昨年より満員御礼の会が続いている。◆青島ビール社及び京大若手会賛助会員馬淵様より青島ビールを贊助を頂いた。(写真下)



担当役員: 永瀬修之氏 担当役員: 酒井裕人氏 会長: 許志国氏

幹事団リーダーとゆかいな仲間たち



2016.4.2

第2回花見大会 幹事団成員と担当業務

- ★=女性、番号=写真番号
①伊井野 友香★(2013年東大卒): 幹事団リーダー
②小原 太(2006年東大卒): 副リーダー・名簿作成・企画・司会
③利根川 周子★(2002年東大卒): 二次会準備・受付・写真撮影
④渡辺 真美★(2002年卒): 会場設営・受付・会場案内
⑤和田 祐布子★(2009年一橋大卒): 受付・写真撮影・会場案内
⑥坂本 龍一(2011年東大卒): 会場案内・二次会司会
⑦小山 沙織★(2012年阪大卒): 企画・司会・新聞編集
⑧北岡 未来★(2017年早大卒): 会場設営・受付・新聞編集

七大学若手会 今後の予定

- 【東京】5月29日(日) 若手昼食会 ※満45歳以下七大学若手限定
【東京】6月12日(日) 若手昼食会 ※満45歳以下七大学若手限定
【東京】6月18日(土) 京大若手会 (講演会)
講師) 三井住友 奥会長
【東京】9月10日(土) 七大学若手講演会 (講師: 藤田昌久所長)
※大学不問満45歳以下若手と賛助会員

※詳細と参加申込 七大学若手会

◆8名もの大幹事団の結末が固まるも、幹事団リーダーにはメンバーに明かせなかつた秘密があつた。リーダーは開催一週間前まで花見会場である猿江恩賜公園のことを恩寵公園と思ひ込み、打合せや連絡等でも「恩寵」と連呼。しかし幹事団メンバーも、誤りに気付かずその呼称をすんなり受け入れた強者、気付いたがただ受け流した者、むしろいつ気付くかと敢えて黙っていた者という面子であつたため、不思議と誰にツツコまれることなく開催一週間前の深夜、リーダーはふと静かに自らの誤りに気付くに至つたのであつた。

◆花見当日、会場近くのスイーパーに物資運搬のためスーツケース持参の北岡氏を筆頭に幹事団で買出しへ。ところが、9時の開店時間になつても開かない!どうやら開店時間が変更されていた様子。9時半の開店を待ち、30分という短時間で約70名分の買出しを済ませた!が、皆様が温かく過ごせるようにスイーパーで調達した段ボールをシートの下に敷く作業は開催の10時に間に合わず、慌てる幹事団の様子を察し、既に到着していた参加者達が自然と手を貸して下さり、皆で一丸となり作業することで瞬間に会場が完成。◆幹事団から熱い要請を受け、参加者の皆様に楽しんで頂くべくヴァイオリン演奏を引き



「自分の音楽でも人が何の心に届くことか自信より嬉しう。改めてNo Music, No Life! by S氏。(写真上)

受けたS氏。実は第二回幹事団打合せで持ち上がり、その場では承諾にまで至つていなかったものの、議事録にはしっかりと決定事項として記載されていた(↑)ことで、めでたく実現した企画であつた。5日前に急遽決まったため、練習期間があつたが日ごろの練習成果をいかんなく発揮。当日は道行く人までもがS氏のヴァイオリンに惹き寄せられギヤラリーができるほど!花見の宴に音楽の華を添えた。